

# ぐんま広報

県対人口：1,957,583人  
前月：-513人  
男：966,730人  
女：990,853人  
世帯数：792,237世帯  
(県移動人口調査：平成29年12月1日現在)

No.345  
2018 2

発行：群馬県広報課 〒371-8570 前橋市大手町1-1-1 ☎ 027-226-2162 FAX 027-243-3600  
県ホームページ <http://www.pref.gunma.jp/>



小平の里湿生植物園(みどり市)のロウバイ  
県内の開花情報をお知らせしています。  
「ググっとぐんま公式サイト」(ググっとぐんま観光宣伝推進協議会ホームページ)  
<http://gunma-dc.net/>



邑楽町立長柄小学校で行われた「上州座繰り体験」

**特集**

**「絹の国ぐんま」**

未来に引き継ぐ宝

日本の経済基盤を支え、近代国家の発展に大きく貢献した群馬の絹。県内には、長い歴史の中で培われた絹に関わる文化や歴史遺産などが残っています。これらを活用して「絹の国ぐんま」の魅力を発信するとともに、養蚕、製糸、織物などの絹産産を創出・継承し、子どもたちに絹文化を伝えるための取り組みが行われています。

## 国内外に認められた絹文化

本県は、養蚕農家戸数や繭・生糸生産量がいずれも全国一位の養蚕県です。

蚕を育て繭を作る養蚕、繭から生糸を作る製糸、生糸で布を織る織物など一連の絹産産が現在も営まれ、また多くの絹文化や歴史遺産が県内各地に残っています。これは他県には見られない本県の特徴です。

こうしたことを背景に、26年6月「富岡製糸場と絹産産遺産群」が、ユネスコ世界遺産に登録されました。また27年4月に、養蚕や製糸、織物で女性が活躍した歴史や特色ある文化・伝統などが、日本遺産「かかあ天下ーぐんまの絹物語ー」として国に認定されました。

さらに、県は各地に残る絹に関わる建造物や民俗芸能など97件（29年3月現在）を群馬の宝として「ぐんま絹遺産」に登録しています。

## 絹産産の厳しい現状

絹製品は、養蚕農家から製糸業者、生糸流通業者、絹織物業者、染加工業者、小売業者まで多くの業種の技術が施されることで、高品質で高い付加価値を持つ製品になります。

しかし、安価な外国産繭や生糸、絹製品が入ってきたことで競合が発生し、国産の絹製品の需要が減少しています。また養蚕農家の高齢化や後継者不足による繭生産量の減少で、大規模な器械製糸場が全国的にとても少なくなっています。

このようなことから、本県の蚕糸・絹産産の市場規模は、昭和40年ごろから急速に縮小しています。

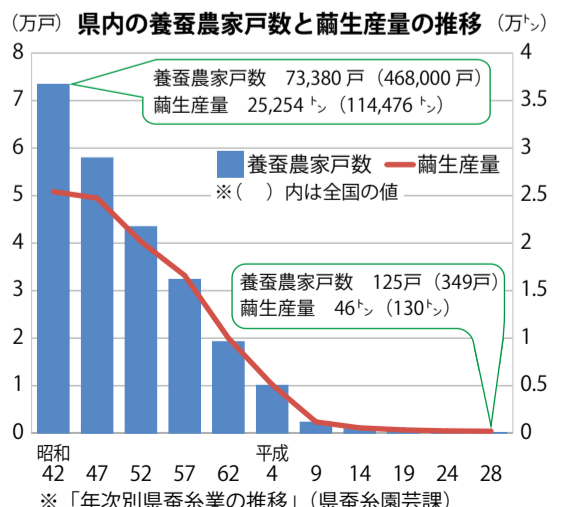
## 絹産産の振興

県は養蚕産産の多様な担い手の育成・確保を図るため、28年度から、県蚕糸技術センターや養蚕農家で実践的な養蚕技術を学ぶ「ぐんま養蚕学校」を実施しています。

また全国一位の生糸生産量を誇る器械製糸場の確水製糸に対して、経営基盤強化やオリジナル絹産産品のパッケージデザイン開発、場内の製糸体験コーナーの整備を支援しています。さらに、県オリジナル蚕産産を開発したり、その生糸を使って作られた絹製品を「ぐんまシルク」として認定したりすることで、県産生糸・絹産産品のブランド力と販売力の強化に取り組んでいます。

子どもたちが絹の歴史や産産・文化を学び、世界遺産の価値を理解できるように、富岡製糸場世界遺産伝道師協会による「学校キャラバン『上州座繰り体験』」なども実施しています。

蚕から絹製品ができるまでの工程や具体的な取り組みについて紹介します。



絹製品ができるまで

「養蚕」…蚕の餌となる桑を育て、蚕を飼育して繭を作る



桑くれ作業



5齢幼虫



繭

「製糸」…繭から生糸を作る



煮繭：奇形や変色した品質の悪い繭を取り除いた後、繭を煮て糸口を取りやすくする



線糸：線糸機によって、数本の繭糸を合わせて一定の太さの糸にする



揚返し：出荷しやすいように、小枠に巻いた生糸を大枠に巻き直す



仕上げ・出荷：生糸を束ねて括（約5キ）とする。6括ごとに箱詰めして出荷する

※写真は碓氷製糸で撮影

「絹製品」…生糸から着物や帯、さまざまな製品を作る



ジャガード織機で帯を織る



着尺



ストール



照明器具

養蚕

ぐんま養蚕学校

養蚕業の多様な担い手の育成・確保のため、28年度から参入希望者を対象に実施しています。県蚕糸技術センターや養蚕農家の下で、約半年間実践的に養蚕技術を学びます。28年度の修了者8人のうち、6人が養蚕を始めています。

「ぐんま養蚕学校」に参加し、甘楽町で新たに養蚕を始めた浅井さんにお話を伺いました。



浅井広大さん

ぐんま養蚕学校」に参加して

「2年前に甘楽町の地域おこし協力隊となり、その年の9月から養蚕を始めました。

きっかけは、あるシンポジウムで養蚕の発展可能性や担い手不足の現状を知り、自分がやらなくてはという思いを強く持ったことです。そんな折、県で実施する『ぐんま養蚕学校』のを知り、参加しました。

養蚕学校では、農家さんが普段行っている作業を座学を通して理論的に学べたのが良かったです。また同時に養蚕を始めた仲間と交流が持て、お互いに励みになっています。

学校が終了した後も、県蚕糸技術センターで行われる桑園管理研修会に参加して、技術を学んでいます」

養蚕の新たな担い手に

「春から秋は、一日中蚕の世話に追われます。部屋中の蚕が一齐に桑を食べると、まるで雨が降っているような音が響きます。

1日4回の桑くれ作業などは大変ですが、白い繭がたくさんできた時は、大きな達成感を感じます。

『養蚕は桑作りが勝負』といわれるように、健康で大きな蚕を育てるためには、餌となる桑の管理が大切です。

そのため、蚕の飼育時期に合わせて桑を伐採したり、樹形を調整しながら時期に応じて適量の肥料を与えたりします。

養蚕技術を教えてくれた農家さんからねぎらいの言葉を掛けてもらった時は、これからも頑張ろうという気持ちになります。

昨年の繭生産量は300キでしたが、今年は作業を効率化したり薬害・蚕の病気に注意したりして、目標の500キを生産できるように取り組んでいきたいです」



桑の発芽前に行う剪定作業

ご利用ください

「富岡製糸場と絹産業遺産群」絹産業のあゆみと世界遺産

会期 2月7日(水)～21日(水)
時間 午前9時～午後5時（入場は4時30分まで）

会場 富岡製糸場（富岡市富岡）

内容 世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」と関連する地域資産の価値を、パネルや映像などで詳しく紹介。世界遺産伝道師による分かりやすい解説もあります

入場料 無料

※富岡製糸場の見学科がかります
その他 自動車でお越しの場合は、周辺の市営駐車場をご利用ください

問 県庁世界遺産課（☎027・226・2326 027・224・2812）

「群馬の絹」展

会期 2月16日(金)～20日(火)
時間 午前9時30分～午後5時
会場 県立日本絹の里（高崎市金古町）

内容 群馬の絹・生糸を使用した和装品や洋装品、工芸品など、絹製品の展示・販売

観覧料 無料

その他 蚕や繭・生糸に関する資料、絹製品などの常設展示



問 県立日本絹の里（☎027・360・6300 027・360・6301）

製糸

碓氷製糸株式会社

全国に2カ所しかない器械製糸場の一つで、昨年5月に碓氷製糸農業協同組合から組織変更し、株式会社として発足しました。高品質な生糸の生産により、蚕糸業と絹文化の継承に重要な役割を担っています。そのため県や富岡市、安中市、JA碓氷安中などが出資して経営基盤強化に取り組んでいます。

安中市にある碓氷製糸の高木社長にお話を伺いました。



高木 賢さん

国産生糸を全国に

「当社は、昭和34年に前身の碓氷製糸農業協同組合として設立し、以来60年近く製糸工場として営業してきました。

主な事業は、生糸やその副産物であるきびそと呼ばれる節の多い糸、生糸を原料とする絹製品の製造・販売です。

県産繭を中心に国内で生産された繭だけを生糸に加工し、北海道から沖縄県まで全国約90社の生糸問屋や絹織物工房などに販売しています。県内の生糸は全て当社で製造しています。年間の生産量は約12・5ト（28年度）で、これは全国の約6割を占めます」

蚕糸業を継承していくために

「生糸の等級にはDから6Aまであり、織度偏差（太さのばらつき）や節点（節の多さ）、強度などの検査項目があります。最も高品質な6Aの生糸は、主に高級呉服などに使われます。

当社では、昨年から高品質な生糸を製造するための繰糸機を実用化しました。6Aの生糸を製造できるのは国内で当社だけです。

最近では海外から多くの生糸が輸入されていますが、これからも品質の良い国産生糸を作り、それに見合う価格を実現することで、経営の安定や養蚕農家の収益の増加を図っていきたくです。

絹は吸湿性と透湿性に優れ、衣類にすると夏は快適で冬は暖かいという特長があります。多くの人に絹製品の良さを知ってもらい使ってほしいですね」

ぐんまシルク認定制度

県は「ぐんまシルク」のブランド化を進め、市場競争力の向上を図るため、ぐんまオリジナル蚕品種を使った高品質の生糸や絹製品を認定しています。



認証マーク

【群馬シルク認定絹製品】



世紀二一



ぐんま黄金



黄金

ぐんまオリジナル蚕品種

県は特徴ある八つの蚕品種を育成・普及しています。世紀二一 染色性に優れ、染め上がりが美しく、気品と風合があります。

ぐんま黄金 光沢があり、鮮やかな黄金色をしています。

その他「ぐんま200」「新小石丸」「新青白」「蚕太」「上州絹星」「ぐんま細」があり、繭糸の太さや色、糸のほぐれやすさ、染色性の良さなどに特長があり、高級呉服や洋装品、ニット製品などに幅広く使われています。

絹製品

絹の新たな可能性

絹織物だけでなく、独自の技術を生かして新たな絹の活用に取り組む企業もあります。

桐生市にある刺しゅう会社の笠盛は、8年前に自社の刺しゅう技術を生かし、絹糸だけで作るアクセサリブランド「トリプル・オウ」を立ち上げました。

28年度には県内の優れた工業製品などを県が選定・推奨する「グッドデザインぐんま」大賞を受賞しました。



大賞を受賞した「トリプル・オウ」ペアデザインの蝶タイとネックレスシリーズ

絹の新しい活用方法について、笠盛の笠原社長にお話を伺いました。



笠原康利さん

時代に合った商品開発

「当社は、明治10年に織物業として創業し、140年の歴史があります。着物や帯の需要が減ってきたため、昭和34年から業態を織物から刺しゅうへ転換しました。現在は主に着物や帯の他、洋服の刺しゅう加工をしています。

『トリプル・オウ』は、絹糸の特長である美しい光沢や軽さ、肌なじみの良さを生かして作ったアクセサリブランドです。時代のニーズに合わせて、チャレンジする精神で自社製品の開発に取り組んでいます。

自社製品は、付けた値段に対して消費者が認めてくれないと売れないという厳しい面もあります。しかし、アイデア次第で面白い商品が作れるところは、仕事をしていた一番楽しく、やりがいがあります」

絹の良さを感じてほしい

「27年度から県の『校旗を作ろうプロジェクト』に協力しています。これは、子どもたちが飼育した蚕から取った生糸で校旗を作る事業です。当社は、校旗に校章や子どもたちが描いたイラストを刺しゅうしていきます。回を重ねるにつれて、凝ったデザインの依頼が増えてきました。

大変な面もありますが、子どもたちが喜ぶ物を作りたいという思いでやっています。

子どもたちが自分で蚕を育て、旗を作った経験を通して、絹布の手触りの良さや刺しゅうの楽しさを感じてもらえるとうれしいです。そのことは、将来の絹業にもきつと良い影響があると思います」



ジャガード機で校旗に刺しゅうをする

校旗を作ろうプロジェクト

県内50の小学校で児童が育てた蚕の繭から校旗を作ります。

碓氷製糸で繭を生糸にし、桐生市内の織物・刺しゅう業者が連携して校旗に仕立てます。

今年で3回目となり、次世代を担う子どもたちに養蚕・製糸・織物の絹文化を体験してもらうことを目的としています。



1月に県庁で展示された新しい校旗

問い合わせ先

蚕糸業について……………県庁蚕糸園芸課  
「グッドデザインぐんま」について……………県庁工業振興課  
「校旗を作ろうプロジェクト」について……………県庁世界遺産課

☎027-226-3092  
☎027-226-3352  
☎027-226-2328

FAX 027-243-7202  
FAX 027-221-3191  
FAX 027-224-2812



# インフォメーション INFORMATION

県ホームページ  
<http://www.pref.gunma.jp/>

**問い合わせの際は、番号を間違えないようにお願いします**

☎は問い合わせ先、☎は相談先、☎は申込先、☎はホームページです

\*印の施設では、障害者手帳などをお持ちの方とその介護者（1人）は無料です。証明できるものをお持ちください

## 2月1日から3月18日までは「サイバーセキュリティ月間」です

インターネットは今や生活に欠かせないツールです。一方で、インターネットを悪用した詐欺やサイバー攻撃による情報流出など、さまざまな問題が発生しています。インターネットを安全に利用するために、日頃から点検をして必要な対策を行いましょう。

### 【特に必要な四つの対策】

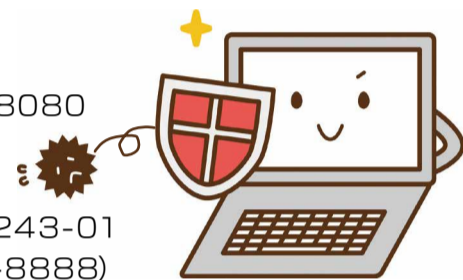
- ・WindowsなどのOSやインターネットを見る時に使うFlash Playerをはじめとする各種ソフトウェアは最新の状態にしておく
- ・ウイルス対策ソフトを導入し、ウイルス定義ファイルを最新の状態にしておく
- ・パスワードは大切に取り扱い、他人に知られないように管理する
- ・身に覚えのない電子メールに注意し、添付ファイルなどは安易に開かない

### 【詐欺やウイルス被害にあった場合は】

一人で悩まず、セキュリティーに詳しい人や県警察の相談窓口にご相談してください

### 【県警察の相談窓口】

- ・サイバー犯罪情報・被害相談専用電話（☎080-2350-0001）
- ※午前8時30分～午後5時15分（土・日曜日、祝日を除く）
- ・総合相談窓口（☎027-224-8080 短縮ダイヤル#9110）
- ※24時間受け付け
- ☎ 県警察本部警務課（☎027-243-0110内線2682 ☎027-224-8888）



## ぐんま婚サポフェア 「結婚を応援したい方たちの縁を結ぶ」

出会い・結婚の応援に関心がある企業・団体・個人を対象に、県内外の事例や役立つ情報などを学べるフェアを開催します。

- 期日** 2月8日（木）
- 時間** 正午～午後5時
- 会場** ホワイトイン高崎（高崎市赤坂町）
- 内容** 「婚活」に詳しい専門家による基調講演やパネルディスカッション、県内外事例の展示、「婚活」体験ブースなど
- 費用** 無料



- 申し込み方法** 当日、直接会場にお越しください
- ※詳しくは「ぐんまスマイルライフ」(<http://smilelife.pref.gunma.jp>)をご覧ください
- ☎ 県庁子ども政策課（☎027-897-2725 ☎027-226-2100）

## 個人の住民税・事業税の確定申告は早めにしましょう

**申告期間** 2月16日（金）～3月15日（木）

### 申告先

- ・個人の住民税…市役所・町村役場
- ・個人の事業税…県行政県税事務所
- ※所得税の申告書を提出する人は、個人の住民税・事業税の申告は不要です。ただし、所得税の申告書の「住民税・事業税に関する事項」欄に必要な事項を必ず記載してください

### その他

- ・確定申告に関する相談は、県内の税務署や市役所・町村役場の窓口で受け付けています
- ・期限間際は窓口が混雑するので、早めに申告を済ませてください
- ・個人の住民税・事業税、所得税の納税には、口座振替制度があります。ぜひ利用してください
- ☎ 所得税の確定申告…県内の税務署
- ・個人の住民税の申告…市役所・町村役場
- ・個人の事業税の申告…県行政県税事務所

## 県議会「第1回定例会」

2月19日（月）に開会し、本会議と委員会は誰でも簡単な手続きで傍聴できます。

### 日程・議事予定

日程	議事予定	日程	議事予定
2月 19日(月)	本会議(開会・提案説明)	3月 8日(木)	本会議(委員長報告・議決)(29年度関係)
23日(金)	本会議(質疑および一般質問(代表))	12日(月)	常任委員会(30年度関係)
26日(月)	本会議(質疑および一般質問)	13日(火)	常任委員会(30年度関係)
28日(水)	本会議(質疑および一般質問)	15日(木)	特別委員会
3月 1日(木)	本会議(質疑および一般質問)	20日(火)	本会議(委員長報告・議決・閉会)
5日(月)	常任委員会(29年度関係)		

- 開会時刻** 午前10時（予定） **費用** 無料
- 申し込み方法** 当日、直接会場にお越しください
- その他** 本会議は、県議会ホームページ（<http://www.gunma-pref.stream.jfit.co.jp/>）からご覧になれます。また質疑および一般質問は、群馬テレビでも生中継します
- ☎ 県議会事務局政策広報課（☎027-897-2892 ☎027-243-4211）

## 日本遺産「かかあ天下—ぐんまの絹物語—」 普及啓発イベント「かかあ自慢の祭典」

**期日** 2月18日（日） **時間** 午前10時～午後4時

**会場** 群馬会館（前橋市大手町）

### 内容

- 「かかあ天下」シンポジウム（午後1時～3時40分）
- ・「かかあ天下」PR合戦 地元で頑張る女性の活動にスポットを当て、夢や情熱を語ってもらいます。エフエム群馬ラジオパーソナリティーの内藤聡が司会進行し、公開生放送を行います
- ・「かかあ天下」トークセッション 日本遺産の魅力の発信方法や日本遺産を生かした地域活性化について、さまざまな分野で活躍する著名な女性が提言します
- クイズラリー、アプリ「きぬめぐり」スタンプラリーなど。参加者には記念品を差し上げます（先着500人）
- ※詳しくは「富岡製糸場と絹産業遺産群」(<http://worldheritage.pref.gunma.jp/ja/>)をご覧ください
- ☎ 県庁世界遺産課（☎027-226-2328 ☎027-224-2812）



日本遺産の構成文化財の一つ後藤織物（桐生市）

# お知らせ

## 県伊勢崎合同庁舎を移転します

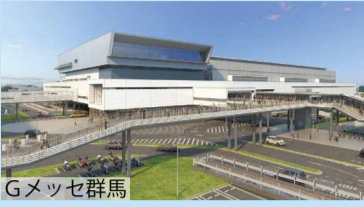
施設の維持管理コストの軽減や効果的な管理運営の推進のため、県伊勢崎合同庁舎を移転します。



**移転日** 2月19日(月)  
**移転する事務所** 県伊勢崎行政県税事務所、県伊勢崎地区農業指導センター

## 群馬コンベンションセンターの愛称が「Gメッセ群馬」に決定!

県がJR高崎駅東口に整備を進めている群馬コンベンションセンターの愛称が「Gメッセ群馬」に決定し、1月11日に発表となりました。「G」には、グローバル、グランド、ゲートなどさまざまな意味が込められています。大規模な展示会や学会、1万人規模のライブコンサートなどが開催可能です。32年春にオープンする予定です。



### 【利用の仮予約について】

32年4月から35年3月末までに開催される催事利用のための仮予約を受け付けています。詳しくは「群馬県コンベンション情報」(<http://www.convention.pref.gunma.jp/development/>)をご覧ください

※URLは右図から読み取れます

※プロモーション動画を「YouTube」で公開しています

問 県庁コンベンション推進課

(☎027-897-2708 FAX027-223-4371)

ター  
**移転先** 県総合教育センター内(伊勢崎市今泉町)  
**その他** 各事務所の連絡先に変更はありません

問 県庁管財課 (☎027・226・2114 FAX027・223・5030)

## 工業用水道の利用相談を受け付けています

県は、地盤沈下防止と産業の基盤整備を目的として、工業用水の供給事業を行っています。

利用の可否などの相談を随時受け付けていますので、ぜひ相談してください。

相談日 月々金曜日

※祝日を除く

時間 午前9時～午後5時

内容

○給水区域 伊勢崎市、太田市、館林市、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町

○給水対象 工業用水は工業用(冷

却水や洗浄水など)の他、一定の条件を満たす場合には雑用水としても利用できます

○単価

・基本料金 1立方メートルあたり33円

・使用料金 1立方メートルあたり2円

※2部料金制を採用しているため経済的です

費用 無料

相談方法 電話または直接

その他 詳しくは、県ホームページ

(<http://www.pref.gunma.jp/06/q2310001.html>)をご覧ください

問 県東毛工業用水道事務所

(太田市高林南町 ☎0276・38・4211 FAX0276・38・4220)

## 募集

### 県農業関係試験研究機関の研究生

試験日 3月2日(金)

合格発表日 3月9日(金)

試験会場 希望する研究機関

受け入れ機関 県農業技術センター(伊勢崎市西小保町)、県畜産技術センター(前橋市総社町)、県水産試験場(前橋市敷島町)、県畜産試験場(前橋市富士見町)

研究科目

・農業:園芸育種、野菜、果樹、特用作物

・蚕業:蚕糸技術

・水産:水産環境、生産技術

・畜産:酪農、肉牛、飼料作物、受精卵移植、畜産環境

定員 若干名

研究期間 4月2日(月)～31年3月29日(金)

試験内容 筆記試験(作文)、面接

受験資格 県内に在住し、高等学校を卒業した人(30年3月卒業見込みを含む)、または同等以上の学力が

あると認められる人

受験料 無料

出願期間 2月9日(金)～23日(金)

出願方法 所定の出願用紙

その他 報酬は支給されません。また研究生の募集は、県職員採用試験とは異なります。詳しくは、希望する研究機関にお問い合わせください

出願用紙配布場所 問 県農業技術センター (☎0270・62・1021 FAX0270・62・2297)

県畜産技術センター (☎027・251・5147)、県水産試験場 (☎027・231・2803 FAX027・231・2135)、県畜産試験場 (☎027・288・2222 FAX027・288・2243)

## 「群馬のグッとアイテム」認定商品

県は、県内の中小企業の販路開拓を支援するため「ぐんま新商品購入推進事業(群馬のグッとアイテム)」を実施しています。

この制度は、県内中小企業者が開発した新商品を、毎年度「群馬のグッとアイテム」として認定するものです。

認定された新商品は、県が随意契約制度で購入できるように他、県ホームページなどでPRします。

※新商品の購入を約束するものではありません

対象企業 県内に本社または生産拠

点があり、自ら開発または事業化した新商品を県内で生産・販売・貸し出す中小企業

※他社製品を仕入れて販売する者は対象外

対象商品 次の全てを満たすもの

・販売を開始して5年以内のもの

・類似商品がないもの、または既存の商品とは著しく異なる使用価値を有するもの

・技術の高度化や経営効率の向上、住民の利便性の増進に寄与するもの

・生産方法や必要な資金などの生産計画が適切なもの

・関係法令や公序良俗に反しないもの

申請期限 3月30日(金)

申請方法 所定の申請用紙

申請用紙入手先 県ホームページ

(<http://www.pref.gunma.jp/06/g1600564.html>)

問 県庁工業振興課 (☎027・26・3359 FAX027・221・3191)

## ぐんまちゃんの食べきり協力店



県は、生ごみの減量と食品ロスの削減を図るため「ぐんまちゃんの食べきり協力店」を募集しています。

対象 県内で営業する飲食店や宿泊施設、食料品小売店

登録要件 小盛り、ハーフサイズのメニューなどの設定や閉店間際の値引き販売など、食べ残しや売れ残りを削減する取り組みを一つ以上実践する

登録時期 随時

登録方法 所定の申請用紙

申請用紙入手先 県環境情報サイト

「ECOぐんま」ホームページ (<http://www.ecogunma.jp/p=4842>)

その他

・登録後は、県環境情報サイト「ECOぐんま」ホームページで店舗の取り組みなどを紹介します

・店頭に掲示するポスターやステッカー、卓上POP(飲食店、宿泊施設だけ)を配布します

## 試験

### 県警察官採用試験説明会

期日 3月13日(火)

時間 午後1時30分～3時30分

会場 県庁(前橋市大手町)

内容 採用試験の概要説明や試験案内の配布、記載方法の説明、質疑応答など

定員 140人(先着順)

費用 無料

申し込み方法 当日、直接会場にお越しください

問 県人事委員会事務局 (☎027・226・2745 FAX027・221・6247)

## 催し

### 子どもの学習支援ボランティア養成セミナー

〔前橋会場〕

期日 2月14日(水)

時間 午後6時30分～8時30分

会場 県社会福祉総合センター(前橋市新前橋町)

〔高崎会場〕

期日 3月3日(土)

時間 午後3時～5時

会場 高崎健康福祉大学(高崎市中大類町)

〔太田会場〕

期日 3月10日(土)

時間 午後1時～3時

会場 太田市役所(太田市浜町)

〔共通事項〕

内容 学習支援ボランティアの役割や、さまざまな課題を抱えた子ども

や、さまざまな課題を抱えた子ども

への対応について学びます

- 基調講演
- ・演題 寄り添い型の学習支援とは、そしてボランティアの必要性
- ・講師 吉田博彦（教育支援協会代表理事）
- 実践報告
- パネルディスカッション

定員 60人（先着順）

費用 無料

申し込み方法 電話

教育支援協会北関東（☎027・226・6731）

県庁健康福祉課（☎027・226・2518）

教育支援協会北関東（☎027・226・6731）

前記 ☎027・226・6731

### あすなる祭

日程 2月16日(金)、17日(土)

会場 昌賢学園まえばしホール（前橋市南町）

内容・時間

○作品展示 県内の知的障害者（児）施設・事業所での訓練や創作活動で制作された作品の展示

### 知事コラム

#### 県民に寄り添った県政を

昨年放送されたテレビドラマ「陸王」は、マラソン選手に寄り添いラニングシューズの開発に挑む人たちの姿を描いた物語でした。

私は、ドラマの登場人物である陸上選手の靴を選ぶシューフィッターの仕事を見て、県政について考えました。この仕事は、選手の体や体調など全てを考えながら、選手が最高の記録を出すことのできる靴を探ることです。選手の立場に立って靴を探る仕事は、県の仕事と一致するのではないかと思います。

県は、新総合計画に基づき「人づくり」「安全・安心な暮らしづくり」「産業活力の向上・社会基盤づくり」

- ・16日 午前10時～午後4時
- ・17日 午前9時30分～午後3時
- ステージ発表 演劇・楽器演奏・ダンスなどのステージ発表
- ・17日 午前10時～午後2時30分



和太鼓の演奏

入場料 無料

県知的障害者福祉協会（☎027・255・6592）

### かあちゃんの天下一品フェア

日程 2月18日(日)、19日(月)

時間 午前10時～午後4時

の三つの目標に向けて、新たな事業を展開しています。目標は定まり、それに向けてしっかりと準備はできました。その上で必要なのは、私をはじめとする職員の姿勢です。県民のために何が必要なのか、何が課題なのかを見つけ、県民に寄り添った県政に取り組むことが、一番大事な使命だと思います。



職員に向けて年頭のあいさつをする大澤正明知事（1月4日）

会場 県庁（前橋市大手町）

内容 県内各地の「かあちゃん」たちが心を込めて作った、地元の食材を生かした農産加工品や旬の野菜などの販売

歌やマンドリン・アコーディオンの演奏（18日だけ）

入場料 無料

その他

・スタンプカードを発行し、購入金額200円ごとに1ポイントを差し上げます。10ポイントを集めると100円券として使えます（18日だけ）

「かかあ自慢の祭典」を群馬会館（前橋市大手町）で同時開催します（4ページ参照）

県庁ぐんまブランド推進課（☎027・226・3133）



昨年度の様子

### 心臓血管センター県民健康公開講座「不整脈の診かた」と最新治療

期日 2月23日(金)

時間 午後6時～7時30分

会場 県立心臓血管センター（前橋市亀泉町）

内容 最新の不整脈治療や不整脈のさまざまな症状、治療法や生活上の注意点などについて医師が講義を行います。また、ペースメーカーと上手

に付き合う方法を分かりやすく話します

定員 120人（先着順）

費用 無料

申し込み方法 電話またはファクス

住所、氏名、電話番号、参加希望人数をお知らせください

県立心臓血管センター（☎027・269・7455）

親子森であそぼう森で学ぼう教室「春の訪れを感じよう」早春の森でネイチャーゲーム

期日 3月18日(日)

時間 午前10時～午後3時

会場 県森林学習センター（渋川市伊香保町）

内容 森の中で自然を題材にしたゲームをしたり、落ち葉などの材料を使ったクラフト製作を楽しんだりします

対象 小学生とその保護者

定員 30人（申し込み多数の場合は抽選）

費用 無料

申し込み方法 電話

県庁緑化推進課（☎027・226・3272）

森でゲームを楽しむ



森でゲームを楽しむ

18 特集 新春知事対談

かお 技能五輪国際大会で第4位 小谷野貴光さん

県政の話題 ニューイヤー駅伝

ぐんま名山探訪（古界名山）、ぐんま湯けむり浪漫（川原湯温泉）、おさんぽ日和（館林「歴史の小径」周辺エリア）など

1月15日(月)発売 定価360円(税込み) 販売場所：県庁県民センター、県内取扱書店

☎ 県庁広報課（☎027-226-2162 FAX 027-243-3600）

「ぐんま広報」電子書籍版のお知らせ

スマートフォンやタブレット端末で「ぐんま広報」の最新号をご覧になれます。県ホームページ（http://www.pref.gunma.jp/07/b2101224.html）から電子書籍用アプリ（無料）をダウンロードしてください。

☎ 県庁広報課（☎027-226-2162 FAX027-243-3600）

ぐんま一番

群馬テレビ 毎週金曜日 午後7時30分

（再放送）日曜日 午前9時30分

群馬の宣伝部長「ぐんまちゃん」、宣伝部員のタイムマシン3号と女性部員が、群馬を全国に宣伝するために、地域の魅力を紹介しています。

2月9日/体験満載！カラダで覚える 榛東村

2月16日/花がある 笑顔がある 幸せ広がる 玉村Girl

2月23日/アンコール 3月2日/板倉町

☎ 県庁広報課（☎027-226-2167 FAX 027-243-3600）

群馬クレインサンダーズ試合情報

日程	開始時刻	会場	対戦相手
2月4日(日)	午後2時	館林	仙台89ERS
2月10日(土)	午後6時	前橋	金沢武士団
2月11日(日)	午後2時		

会場 館林…館林市城沼総合体育館（館林市つつじ町）  
前橋…ヤマト市民体育館前橋（前橋市上佐鳥町）

入場料 席種などにより異なります。詳しくはお問い合わせください

入場券購入先 群馬クレインサンダーズホームページ

☎ 群馬プロバスケットボールコミッション ☎027-289-9562  
☎027-289-9563 https://g-crane-thunders.jp/

群馬交響楽団定期演奏会情報

期日 3月17日(土)

開演時刻 午後6時45分（6時開場）

会場 群馬音楽センター（高崎市高松町）

内容 指揮：大友直人、ピアノ：小川典子、曲目：エルガー/序曲《コケイン》-ロンドンの下町で 作品40、ラベル/ピアノ協奏曲ト長調、ボーン・ウィリアムス/交響曲第2番《ロンドン交響曲》

入場料 S席=4,600円、A席=4,100円、B席=3,600円、C席（自由席）=2,100円

入場券販売場所 群馬音楽センター、チケットぴあ、群馬交響楽団事務局（高崎市高松町）など

☎ 群馬交響楽団事務局 ☎027-322-4316  
☎027-322-4943 http://www.gunkyo.com/

「ぐんまちゃん家メールマガジン」をご利用ください

ぐんま総合情報センター「ぐんまちゃん家」で開催されるイベントや県の観光スポットなどの情報を、毎月1日、15日に無料で配信しています。

登録方法 ぐんま総合情報センター「ぐんまちゃん家」ホームページ（http://kikaku.pref.gunma.jp/g-info/）から登録してください

※携帯電話やスマートフォンの場合は、Eメールアドレス（gunmachan\_chi@e.bme.jp）に、件名・本文なしのメールを送信してください。Eメールアドレスは下図から読み取れます

☎ ぐんま総合情報センター「ぐんまちゃん家」  
☎03-3546-8511 FAX03-3546-6551

チケットプレゼント クロスワードパズルの正解者の中から抽選で、群馬クレインサンダーズ（今シーズンホームゲーム共通）、群馬交響楽団東京公演（3月18日すみだトリフォニーホール 東京都墨田区錦糸）のチケット（2枚組み）をそれぞれ5人にプレゼントします。詳しくは8ページをご覧ください

### 美術館・博物館 などの催し

#### 自然史博物館サイエンス・サタデー「木の葉の化石をさがそう」



木の葉の化石

**日程** 2月10日、17日、24日(いずれも土曜日)

**時間** 午後2時～3時(受け付けは1時30分)

**会場** 県立自然史博物館(富岡市上黒岩)

**内容** 化石の出来方について学び、木の葉石を割り、中に入っている化石を探します。見つけた化石は持ち帰れます

**講師** 当館職員、ボランティア

**対象** 小学生以上の人

※小学3年生以下は保護者の付き添いが必要

**定員** 各30人(先着順)

**費用** 無料

**申し込み方法** 当日、直接会場にお越しください

**問** 0274・60・1200

**FAX** 0274・60・1250

**館林美術館たてび土曜レクチャー「やきもの話/海外アート紀行」**

美術に親しんでもらうためのレクチャーシリーズです。美術を専門的

な視点からだけでなく、身近に楽しむコツを話します。

**日程・演題・講師**

・2月10日(土) やきもの人間国宝(佐賀) 佐々木正直(当館館長)

・17日(土) ゆるゆるの目線で行く! 面白「やきもの」探訪 伊藤佳之(福沢一郎記念館学芸員)

・24日(土) ウィリアム・モリスのデザインを訪ねて 松下由里(当館学芸員)

**時間** 午後2時～3時

**会場** 県立館林美術館(館林市日向町)

**定員** 130人(先着順)

**費用** 無料

**申し込み方法** 当日、直接会場にお越しください

**問** 0276・72・8188

#### ぐんまフラワーパーク「花たちが奏でる音色」\*

**会場** ぐんまフラワーパーク(前橋市柏倉町)

**内容** チューリップやスイセンなどを使って、春をイメージした展示をします

**期日** 2月16日(金)～3月31日(土)

**時間** 午前9時～午後4時(入場は3時30分まで)

※3月1日(木)からは5時(入場は4時30分)まで

**会場** ぐんまフラワーパーク(前橋市柏倉町)

**内容** チューリップやスイセンなどを使って、春をイメージした展示をします



イベント温室での展示

**入園料** 一般1600円、中学生以下1100円

**フリーダイヤル** 0120・1187・38

**問** 027・283・8389

#### ぐんま天文台「スマホやデジタルカメラで月を撮ろう」\*

**期日** 2月24日(土)

**時間** 午後6時～8時30分

**会場** 県立ぐんま天文台(高山村中山)

**内容** 携帯電話やスマートフォン、カメラ、小型デジタルカメラで月を撮影して、オリジナルの壁紙を作ります

**費用** 無料

※入館料がかかります

**入館料** 一般1300円、大学・高校生1200円、中学生以下1100円

**申し込み方法** 当日、直接会場にお越しください

**その他** 歩行が困難な人は、当館の駐車場と会場の間を送迎します

**問** 0279・70・5300

**FAX** 0279・70・5544



作画例(26年10月24日撮影) 10mm移動式望遠鏡+iPhone6

#### 近代美術館「美術館アートまつり」

**期日** 2月25日(日)

**時間** 午前10時～正午、午後1時～3時

**会場** 県立近代美術館(高崎市綿貫町)

**内容** 簡単な工作や造形遊び、体を動かしながら作品鑑賞をするなど、さまざまなアートイベントを体験できます。イベントに参加してスタンプを集めると、賞品がもらえます

**費用** 無料

**申し込み方法** 当日、直接会場にお越しください

**問** 027・346・5560



クイズに答えながら作品を鑑賞

#### 日本絹の里特別展「シルクの土俵入りと相撲の世界と絹織物」\*

**期日** 2月25日(日)～4月8日(日)

※火曜日休館

**時間** 午前9時30分～午後5時

**会場** 県立日本絹の里(高崎市金古町)

**内容** 国技といわれ、日本固有の文化である相撲。関取が使う絹の締め込みや華やかな化粧まわし、行司装束など人々を魅了する相撲の世界を紹介いたします



錦絵「第7代横綱稲妻雷五郎土俵入り」(相撲博物館蔵)

**関連行事**

○力士の手形を使った型染体験

・日程 2月25日、3月14日(水)、4月1日(日)

・時間 午前10時～正午、午後1時30分～3時30分

・内容 元関脇琴錦の手形から作った当館オリジナル型紙を使用して、型染めをします

・講師 当館職員

・定員 各10人(先着順)

・費用 1500円(材料費)

※別途、観覧料がかかります

・申し込み方法 電話

○絹のタッセル作り

・日程 3月3日(土)、11日(日)、17日(日)

(土) 21日(水)、25日(日)

・時間 午前10時～正午、午後1時30分～3時30分(受け付けは30分前から)

・内容 絹糸でストラップタイプのタッセルを作ります

・講師 当館職員

・定員 各20人(先着順)

・費用 無料

※観覧料がかかります

・申し込み方法 当日、直接会場にお越しください

**観覧料** 一般1200円、大学・高校生1100円、中学生以下1100円

**問** 027・360・6300

**FAX** 027・360・6301

### FIND GUNMA フォトコンテスト作品募集

#### ～写真で伝える「ぐんまの魅力」～

豊かな自然、温泉、農畜産物などの魅力があふれている群馬県。身の回りには心引かれる風景や誇れるものがたくさんあります。

そこで県は、群馬の魅力を新たな形で伝えるため、写真共有アプリ「インスタグラム」を使ったフォトコンテストを開催しています。応募を通じて「自分が考える群馬の魅力」を全国に発信してみませんか。

**募集内容** 「ぐんまの魅力」を伝える写真

**応募期限** 2月28日(水)

**賞** 最優秀賞(1点) 県内旅館宿泊券3万円分、優秀賞(2点) 県内旅館宿泊券2万円分、特別賞(10点) QUOカード5千円分

**応募方法**

- ①インスタグラムの県広報課公式アカウント「@gunma\_kouhou\_official」をフォローします
  - ②応募写真にハッシュタグ「#gunmapics」を付け、撮影場所を記載して投稿します
- ※おおむね1年以内に撮影された写真であれば応募可能です
- ※投稿した写真は、本コンテストの広報の他、県のPRなどに使用される場合があります
- その他** 募集要項に記載した事項の全てに承諾した上で応募してください
- ※募集要項は右図からご覧ください

**問** 県庁広報課 (☎027-897-2695 FAX027-243-3600)





# イベント情報

※「ググっとぐんま公式サイト」(http://gunma-dc.net/)などに掲載されている主なイベントを紹介します。詳しくはお問い合わせください  
※内容が変更になることがありますので、お出掛けの際はご確認ください

名称	日程・時間	会場	内容	費用	問い合わせ先
氷上ワカサギ穴釣り	3月31日(土)まで(予定) 午前6時30分～午後4時	赤城大沼(前橋市富士見町)	凍った湖の上でワカサギ釣りが体験できます。詳しくはお問い合わせください	入漁料=700円、中学生以下無料 ※別途、道具のレンタル料がかかります	赤城大沼漁業協同組合(青木旅館内) ☎027-287-8511
チャップミゴケ公園スノーシューツアー	3月31日(土)まで 午前8時55分集合	集合場所 JR長野原草津口駅(長野原町長野原)	チャップミゴケの群生地を目指してスノーシューの旅を体験します(定員8人 先着順) ※事前申し込みが必要です。詳しくはお問い合わせください	一般=7,700円、6歳以上12歳未満=6,700円(昼食代を含む)	中之条町観光協会 ☎0279-75-8814 ☎0279-26-3777
北軽井沢 炎のまつり	2月10日(土) 午後4時から	北軽井沢ふれあい広場(長野原町北軽井沢)	約4千本のろうそくに火をともしたろうそくアートや、浅間鬼押し太鼓などのアトラクション、打ち上げ花火などが楽しめます	無料	北軽井沢観光協会 ☎0279-84-2047 ☎0279-84-6289
富岡製糸場とまちなか光のおもてなし	2月25日までの金～日曜日 午後4時30分～7時	富岡製糸場、上信電鉄上州富岡駅前(いずれも富岡市富岡)	富岡製糸場と周辺の街中でライトアップイベントを行います。周辺店舗でおさきりこみやワインなども楽しめます	無料	まちづくり富岡 ☎0274-67-0103 ☎0274-67-0104

## おたよりコーナー



「新年ぐんまちゃんクイズ」への応募はがき・メールを紹介しします

◆知事の新年のあいさつを読んで、群馬は全国や世界に向けてアピールできる要素をたくさん秘めていると感じました。

また県民への温かい支援が計画されていることに期待しています。(太田市 73歳)

◆「新年ぐんまちゃんクイズ」に挑戦しました。県が開発したニジマスの名前や、渋川市にある民俗文化財のなどを初めて知りました。

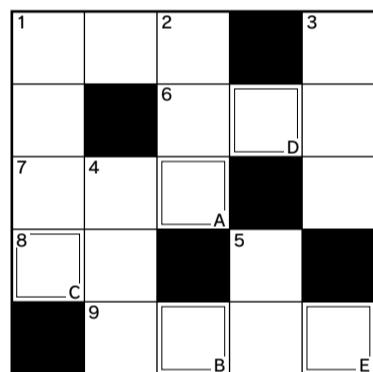
群馬で生まれ育ちましたが、まだ知らないことだらけだと痛感しました。これからも、郷土愛を育む楽しい紙面を作ってください。

(高崎市 36歳)

※掲載された人には、ぐんまちゃんのぬいぐるみをプレゼントします

## クロスワードパズル

正解者の中から抽選で「県有施設の無料招待券(2枚組み)」などを各5人にプレゼントします



答え:A~Eを順番に並べると?



### たてのかぎ

- 転居すること
- 目の外側に当たる方の端。目頭の反対
- 水鳥の羽毛。○○○ジャケット
- 値引きしたり、品物を添えたりすること。またその品物
- 細い竹骨に紙を貼り、糸を付けて風力を使って空に揚げる玩具

### よこのかぎ

- 牛・馬・羊・象などが持つ、硬い角質の爪
- 弾丸を発射する火器。火縄○○○
- 水が氷点下の温度で固体の状態になったもの
- 周囲が水で囲まれた小さい陸地
- 夫婦になること。婚姻

応募方法 はがき、Eメールまたは「ぐんま電子申請受付システム」。①パズルの答え ②郵便番号 ③住所 ④氏名(ふりがな) ⑤年齢 ⑥今月のぐんま広報へのご意見・ご感想 ⑦希望の賞品名を書いてください(Eメールは件名に「クロスワードパズル2月」と記入してください)

### 応募先

- はがき 〒371-8570 群馬県庁広報課クロスワードパズル係
- Eメール crossword@pref.gunma.lg.jp
- 電子申請 http://www.shinsei.elg-front.jp/gunma/navi/index.html
- ※スマートフォン(Android5以上 およびiOS5以上)用のURLは右図から読み取れます



応募期限 2月14日(水)消印有効

※Eメール、電子申請は14日送信分まで

賞品 次の中から希望のものを明記してください

近代美術館、館林美術館、歴史博物館、自然史博物館、土屋文明記念文学館、日本絹の里、ぐんまフラワーパーク、ぐんま天文台、ぐんま昆虫の森、ぐんまちゃんトートバッグ、ぐんまちゃんグッズ、群馬クレインサンダーズ(今シーズンホームゲーム共通)、群馬交響楽団東京公演(3月18日 すみだトリフォニーホール 東京都墨田区錦糸)

※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます

## 編集室だよ!

取材先の碓氷製糸では、繰糸機により真っ白な繭から、次々と生糸が作られていました。1本の糸は、手で簡単に切れてしまうほどの細い物です。しかし、束ねて括にした生糸はずつしりと重く、独特の光沢も分かります。人の手を経て製品が作られていることを実感しました。

また取材した小学校では、実家で養蚕を手伝っていることを一生懸命説明してくれた男の子や、県内各地の「養蚕の神さま」について調査をしている世界遺産伝道師協会の人たちに会いました。

こうしたさまざまな人たちの活動を今後も紹介できたらと思います。(万年)